

海外安全対策情報

【2020年7月～9月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、各種犯罪は日常的に発生してお
り、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、新型コロナウイルス
のため倒産・失業者が増え、それに伴い犯罪も増加しているとの風評もあります。

当地での犯罪の態様には、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細
なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、投
資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返ってこない詐欺、電信ネット詐欺、ネズ
ミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬物犯罪が後を絶たない状況にありま
す。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこ
とはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しない、飲酒者に自己所有の車両を運
転させないように気をつけなければなりません。また、売春などの性的サービスも禁
止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場など
でトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような
点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 殺人（胶州市）

7月13日午後7時40分、胶州市内のバス停で男2名が争いとなり、一方の男が
刃物を持ち出して突き刺した。刺された男は病院に搬送されたが死亡が確認され、
刺した男は派出所に連行されて、現在取調べが行われている。

(2) 緊縛強盗（徳州市）

6月19日午後5時ころ、徳州市の住民が帰宅し家に入るため玄関を開けようとし

海外安全対策情報

たところ、刃物を持った二人組の男が襲いかかりそのまま家の中へ押し込められた。二人組は現金 13000 元と貴金属を強奪、被害者を緊縛して家の中に閉じ込め、用意してあった車で逃走した。警察は、付近の監視カメラ映像とビックデータを解析して、二人組が使用した車両を特定、河北省へ逃走していることを発見、逃走先の河北省で車両の真正ナンバーを突き止め被疑者の人定事項を特定した。6 月 25 日、人定事項から割り出した被疑者の遼寧省の実家で二人組を検挙し、強奪した現金の一部及び貴金属を押収した。

(3) 暴行・脅迫（胶州市、青島市）

ア 脅迫（胶州市）

7 月 9 日胶州市公安局の発表によれば、酒酔い運転の車と故意に事故を起こして金をゆすり取っていたグループを検挙した。同グループは、2019 年から胶州市内のレストランの前で酒を飲んで出てきた客が車を運転するのを待ち、飲酒客が運転したところでわざと車にぶつかり、警察に通報すると脅して金をゆすり取っていた。

イ 記者に対する暴行傷害（青島市）

7 月 14 日、青島テレビの記者 2 名が青島市市北区の某会社へ取材に行ったところ、当該会社の従業員の女が、記者が会社を撮影することを止めるため、記者の携帯電話を奪うと共に、同女の夫が記者を殴打するなどして、記者に傷害を与え、携帯電話及びカメラを損傷させた。現在、警察が被疑者 2 名を拘束して取り調べを行っている。

ウ 立て籠もり（青島市）

8 月 20 日午前 11 時頃、青島市内のマンション 6 階の一室で、痴情のもつれから男が刃物を持って同居人の女性とその子供を人質にして立て籠もる事件が発生した。警察がなだめたり、ドアを開けるように説得しても、男はそれに応じず立て籠もりを続けたことから、午後 4 時 20 分、警察ははしご車を 6 階のベランダにつけ窓から突入し、人質を救出すると共に男を検挙した。付近の住民によれば、事件前日夜に、当該部屋から喧嘩と思われる大きな声がしていたとのこと。

(4) 窃盗（済南市、青島市、煙台市）

ア 侵入窃盗（済南市）

6 月 11 日、以前に済南市で商店を営み店を閉め、残った商品を某マンションの地下室に保管していた元店主が、3 ヶ月ぶりに地下室に行ったところ、保管していた白酒や生活用品など総額 3000 元相当の商品がなくなっていることに気が付いた。通報を受けた派出所が監視カメラを解析した結果、最初の犯行は 5 月 18 日に行われ、その後 6 月初めまでにかけて複数回賊が侵入し商品を盗んだことが判明、容疑者 4 名を検挙した。

イ 携帯基地局からの窃盗（煙台市）

7月5日、煙台市で携帯基地局が断電し5G電波が停止することが発生した。調査の結果、5カ所の基地局の電源ボックスから整流モジュールがなくなっていることが判った。警察が付近の監視カメラ映像を確認したところ、1台のシェアカーが深夜1時頃に現場付近を走り来していることが判明、8日に運転していた男を検挙した。男は、以前基地局の保守を行っていたが、ネットでモジュールが売れることを知り盗んで売りさばくことを思い付き、3ヶ月間で80件の犯行を行い、モジュール187個、時価総額15万元を盗んでいた。

ウ 仮睡盗（青島市）

8月2日夜、青島市城陽区の温泉施設に家族で行った女性が温泉施設の休憩室で寝ていたところ、テーブルの上のティッシュケースに入れていた携帯電話がなくなっていた。監視カメラ映像には盗んだ犯人が映っていたことから、警察に届け出、10日になって犯人が検挙されたが、携帯電話はすでに解体され、基板は深圳に送られてしまっていた。

エ 侵入盗、車上ねらい（青島市）

8月4日夜、胶州市のスーパーで多数の高級タバコと現金2000元が盗まれる侵入盗が発生した。警察は、監視カメラ映像などから犯行グループを特定し、翌日明け方に検挙することができた。同グループは19歳から23歳の男で、侵入盗以外にも8月の数日間で、胶州市、即墨区、城陽区において夜間施錠していない車から金目の物を盗む車上ねらいを8件行っていた。

（5）器物毀損（青島市）

8月17日、青島市市北区に駐車していた多数の車の窓ガラスが割られる被害が発生した。窓ガラスを割られた車は高級車が多く、車内に財物があっても盗まれていなかった。警察が周辺の監視カメラ映像を解析したところ、男が鈍器を持って高級車を選んで窓ガラスを割っている様子が映っていた。9月17日同男を検挙し、男は酒を飲み、以前高級車の運転手と喧嘩したことを思い出し、高級車ばかりの窓ガラスを割ったことを認めた。

（6）詐欺（青島市）

ア 偽警察官詐欺（青島市）

6月29日青島市公安局は、警察官と詐って詐欺をはたらいた男を検挙した。5月、某マンションの警備員が健康カードを提示しない者と揉めていたところ、警察官の制服を着た同男が来てその場をおさめた。同男が警察官だと信じた警備員は、連絡先を交換し、後日子供が警察官になるための手伝いを依頼し複数回金を支払った。その後、おかしいと思った警備員が通報し偽警察官であることが発覚した。同男は、2018年にネットで警察官の制服や装備品を買い、これまでに6名の被害者から合計40万元を騙し取っていた。

海外安全対策情報

イ 偽電子マネー詐欺（青島市）

9月22日青島市公安局は、インターネットで偽の電子マネーを騙って金を騙し取っていたグループを検挙した。同グループは、wechat上で偽の電子マネーアプリを推薦し、アプリを登録した者から振込みを受ける形式で420万円を得ていた。警察が資金の流れを捜査し関係16口座を凍結して270万円を凍結するとともに、ビッグデータを解析して容疑者を特定し容疑者20名を検挙、犯行に使われたパソコンや携帯電話を押収した。

（7）違法薬物取締り（泰安市、日照市）

ア 違法薬物販売グループ検挙（泰安市）

2019年7月泰安市寧陽県公安局は、違法薬物を販売していたグループを検挙した。同グループは、雲南省昆明と済南を往復して覚醒剤を仕入れ、覚醒剤をお茶や調味料に隠して宅急便で泰安まで送って受け取り、済南市や泰安市で売りさばっていた。宅急便で送る際は、実名を使用しなかったり、宅急便会社を変更するなどし、更に売りさばく際も落としたりした物を拾わせる方法をとって発覚を逃れていた。同グループに関連してこれまでに21名の薬物売人、26名の薬物使用者を検挙している。

イ 違法薬物密売（日照市）

7月14日日照市公安局は、違法薬物を密売した男を検挙した。その男の供述から組織の実態を割り出し、リーダーの自宅に踏み込み、薬物の入手担当であるリーダーと会計役である内縁の妻を検挙した。リーダーは、2013年から違法薬物を使用するようになり、入手した薬物を売りさばくことを思い付き、以前から一緒に薬物を使用していた仲間と役割分担を決め薬物密売をしていた。日照市公安局では、これまでに関連薬物使用者を含め22名を検挙し、560gの違法薬物、4gの覚醒剤及び薬物使用道具を押収した。

（8）ネット賭博（済南市）

近日、済南市公安局は携帯アプリを使ったネット賭博犯罪を摘発し、容疑者23名を検挙、事件に係わる金額は7831万元に及んだ。某ネット賭博使用者は、新型コロナのため商売が上手くいかず、友達から教えられた麻雀アプリにはまり、4ヶ月間で貯金7万元を注ぎ込んだ上借金までしていた。済南市公安局は現在もネット賭博捜査を継続しており、これまでにwechatグループチャット30個、容疑者3855名を発見、7月15日までに賭博開帳事件を30件、692名を検挙している。

（9）公文書偽造（青島市）

8月6日青島市公安局は、出稼ぎ労働者の子供が青島市内の学校に入学するために必要な書類を偽造していたグループを検挙し、犯行に使用していた携帯電話、チラシ数百枚を押収した。同グループは、適正な資格を持っていない学生が入学するために必要な書類を用意するために、証明書、印鑑、公文書を偽造して販売していた。

海外安全対策情報

(10) 公務執行妨害（煙台市）

9月2日煙台市公安局は、交通警察などを尾行し過積載トラックの運転手に交通警察の居場所を連絡して過積載の取締りを逃れさせていた6名、過積載トラック運転手2名を検挙し、連絡に使っていたトランシーバーなどを押収した。また、8日には検挙を恐れた仲間4名が公安局に出頭してきた。検挙された者は、行政執法部門の法執行を妨害したことで、それぞれ行政拘留処分に処せられた。

(11) 飲酒運転（青島市）

ア 飲酒運転（青島市）

7月6日午前5時ころ、青島市公安局交通警察大隊がパトロール中に、一台の車が突然道路脇に停車し運転していた女が慌てて降りる状況を発見、不審に思った警察官が運転手を呼び止め調べたところ、同女は飲酒して運転していたことが判明した。女は、友達と同日午前3時からホテルで飲み始め瓶ビール4本を飲み、友達に乗ってきた車を運転したところを発見された。女は、明け方なので警察はいないだろうと思っていたとのこと。

イ 飲酒運転（青島市）

7月19日午前2時頃、黄島区で酒酔い運転の車が信号機に衝突したはずみで付近に駐車していた車2台にぶつかり、最後には道沿いの商店に突っ込んでやっと止まる飲酒運転事故が発生した。運転手は、前日18日夜から酒を飲み続け帰るために車を運転し、途中何かにぶつかったことはおぼえていたが、その後の記憶はないとのこと、体内からは飲酒運転の基準を超えるアルコールが検出された。12点減点、罰金1000円の他に、ぶつかった車、商店の修理代8万円を弁償することとなった。

(12) 白タク取締り（青島市）

現在、青島市交通運輸総合行政執法支隊は青島駅や青島流亭空港での白タク取締りを強化しており、青島流亭空港では今年に入り違法営業車両38件、違反ネットタクシー36件、違法レンタカー225件などを検挙している。同支隊は、白タクに乗らないようにして危険を発生させないことが重要であると指導している。某白タクは、青島駅から西海岸新区へ行くのに10円で客を乗せているが、10円では足りるはずがないので、トンネルを抜けたところで他の車に引き継ぎ高額をふっかける可能性がある。

(13) 売春（青島市）

6月22日夜12時ころ、青島市海岸警察に某マンション内で売春が行われているとの通報があった。警察が通報のあった部屋に行ったところ、部屋には女性のみがおり売春を行っていたことを認めた。しかし、同部屋には女性しかいなかったことから更に追及したところ、通報者が買春していたことが判明した。通報者によれば、酒を飲んだ後、女性を呼び500元支払って関係を持ったが、損をした感じがしたことから通報したとのこと。両名は、行政拘留10日の処分に処せられた。

海外安全対策情報

(14) ゴミ未分別に対する罰金（青島市）

7月13日、湛山街道執法中隊はゴミ分別が徹底されていないとして、某ビル管理会社に対して罰金5000元の「行政処罰決定書」を發出した。執法員の検査時、同ビルのゴミには生ゴミがその他のゴミの中に入っていたことから、「青島市城市管理行政処罰裁量基準」に基づき処罰された。

4. 治安対策等報道

(1) 違法薬物検挙統計（済南市、威海市）

済南市公安局の発表によれば、最近3年間済南市で検挙した違法薬物事件は383件、検挙した容疑者は2000名強、押収した各種違法薬物は4トンであった。また、違法薬物製造に使用される化学製品及び植物の取締りを30件行い、処理人員は200名、検査企業は7000社、ケシ3.4万株を一掃した。済南市の違法薬物関連犯罪は、薬物使用が主であり、薬物製造、販売は少ないとの特徴がある。

威海市では、最近3年間で、465件の違法薬物事件を検挙、544名の容疑者を検挙、21.86kgの薬物を押収した。現在、威海市で登録されている薬物使用者は6561名であり、山東省内で5番目に多くなっている。

(2) 違法薬物審理統計（青島市）

青島市中級人民法院の発表によれば、最近1年間青島市内の法院で審理された違法薬物事件第一審裁判は445件であり、内訳は密輸、販売、輸送、製造事件が312件、薬物使用場所提供が121件、所持、違法薬物原料植物栽培が12件であった。青島市における薬物犯罪の特徴は、件数が依然として高い状態を保っており、一件で多量の薬物販売などの重大薬物犯罪も発生している。また、女性や未成年が関与する薬物犯罪も増加傾向にある。

(3) 環境違法行為摘発統計（青島市）

今年上半期に青島市生態環境執法部門が立件した環境違法行為は404件、罰金合計は3186万元であった。検挙例としては、①某コンクリート会社は、コンクリート減水剤を漏らし雨水と一緒に排水溝から工場の外に流していたとして罰金10万元に処せられた。②某家具製造会社は、製造過程で発生する揮発性有機排ガスを規定されている汚染防止設備を設置せずに発生させていたとして罰金2万元に処せられた。③某マンションの暖房設備を点検しようとして検査員が身分を明らかにしたにもかかわらず、マンションの警備員が検査に応じず検査を妨害したとして罰金2万元に処せられた。

(4) 税金関連犯罪検挙統計（青島市）

7月30日、青島市税務局、青島市公安局、青島税関、中国人民銀行青島市中心支店の発表によれば、2018年8月からの上記四部門による増値税發票不正使用、輸出税還付詐欺取締りにより、發票不正發出企業370社を処分、不正發出發票9.7万部を押収、容疑者191名を検挙し、偽輸出企業31社を処分、脱税額2.37億元を回収

した。2年間で、青島市公安機関が検挙した税金関連犯罪は412件、関連金額は5059.5億元であった。

(5) 大衆型経済犯罪統計（青島市）

青島市公安局によれば、今年になってから青島市で立件した違法資金募集などの大衆型経済犯罪は57件、容疑者133名、回収した経済損失は3598万元に及び、上半期での取締り実績は青島市が山東省で一番であった。違法資金募集の常套手口には、高利を保証し資金を集める、偽プロジェクトを作り出し投資を集める、虚偽宣伝を流して合法経営を騙る、親戚や知人などの情を利用し商品を買わせるの4類型がよく使われる。

(6) 高速道路でのスピード違反取締り方法（山東省）

山東省公安厅、山東省交通運輸庁は9月1日から11月30日の間、高速道路でのスピード違反集中取締りを実施する。また、同期間の集中取締り終了後、高速道路でのスピード違反取締り方法を変更する。これまでは一カ所での測定、区間測定、移動測定を行っていたところ、集中取締り期間以降は、一定区間の両端に測定器を設置し平均速度を計算する区間測定を全面的に採用し、一カ所での測定結果については違反記録を保存するものの、罰金や減点に使うことなく事故が発生した際の責任認定のみに使うこととなる。

(7) 電動自転車に対するナンバープレート設置義務（山東省）

9月1日午前0時から山東省全域でナンバープレートを付けていない電動自転車は道路を走ることができなくなり、規定されたナンバープレートを付けていない車両が路上を走った場合には罰金20元が科されることになった。（8月30日付「齊魯晩報」）

9月1日、ナンバープレートを付けていない電動自転車の走行が禁止になった当日、多くの都市で取締りが行われ、德州、イ博、聊城、済寧、泰安、日照、青島の7市において初めての交通違反切符が切られた。